

安中市環境基本計画2016

(概要版)

里山の恵みと歴史を活かし 環境文化を育むまち あんなか

～里山や川の豊かな自然を活かし、みんなで創る持続可能なまち～



はじめにー計画策定の目的ー

安中市環境基本計画は、安中市環境基本条例第8条の規定に基づき、本市の環境の保全等に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、必要な事項を定める計画として策定するものです。

安中市環境基本計画2016は、本市の望ましい環境像を明らかにし、良好な環境の保全と創造に関する施策の推進と取り組みにより、現在及び将来の市民の健康で文化的な生活の確保を図り、持続可能な社会を形成していくことを目的としています。

本計画では、「環境づくりの方向」として、“みんなで創る”“里山環境”“やさしい暮らし”などをキーワードとして、協働社会の形成、自然共生社会の実現、循環型・低炭素社会の実現を進めます。

そのなかでも、協働の目標1とした重点的取り組みでは、市民、ボランティア、NPO、企業などの多様な主体と環境交流機会の充実を図り、協働で進めるプロジェクトの立案と実施、進行管理を目指します。

この安中市環境基本計画2016（概要版）は、計画のあらましや市民・団体・事業者の皆さんに組み込んでほしい事項について、広くお知らせするために作成したものです。

1 計画がめざすもの —望ましい環境像とその実現に向けて—

望ましい環境像『里山の恵みと歴史を活かし 環境文化を育むまち あんなか』は、次のようなまち（社会）の実現をめざしています。

自然と共生した環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築に向けて、本市の特性である里山や川の豊かな自然と共生した暮らしや産業を創り育んできた歴史・文化を活かしています。

そして、市民・事業者・市が共に知恵を出し合い、協働して、恵み豊かで快適な里山の再生と幅広い地域の人々との多彩な交流を進め、新たな里山活用の文化を“みんながいきいきと”創り、育てているまちづくりを進め、将来世代に継承しています。

望ましい環境像である“環境文化を育むまち（持続可能な社会）”は、市民の安全・安心を基本とし、環境面から次の4つの社会の形成を図っていくことにより実現されます。

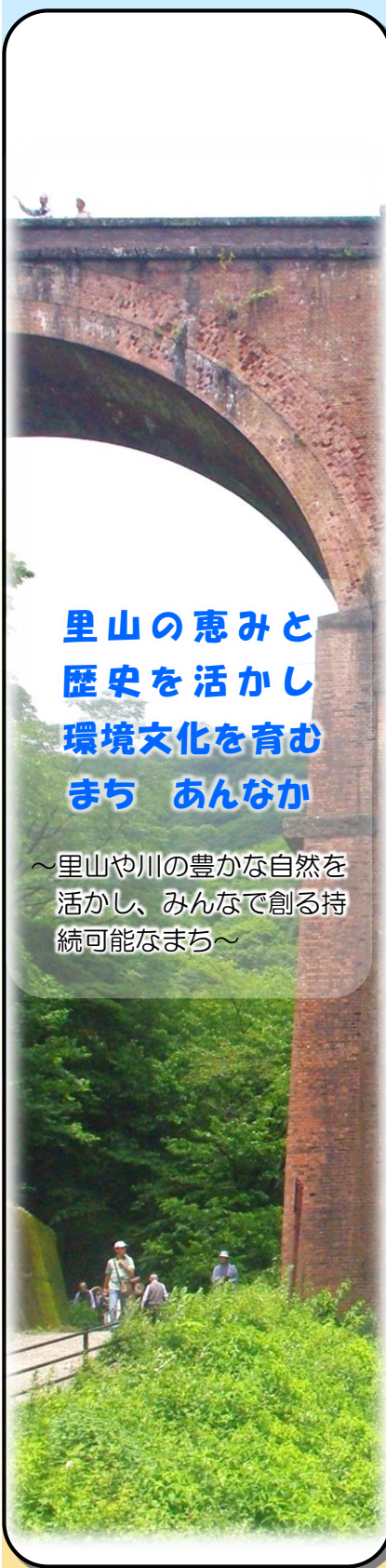
- 自然共生社会
- 循環型社会
- 低炭素社会
- 協働社会

これらの4つの社会像を踏まえ、本計画では、望ましい環境を具体的に実現していくために、本市の環境特性や計画が対象とする環境分野を考慮し、次の3つの「環境づくりの方向」と6つの基本目標を定め、環境の保全と創造に関する取り組みを進めていくことにしました。

本計画では、計画に掲げた環境づくりの方向と基本目標、基本目標別施策の展開方針に基づき、関係課等と連携し総合的・計画的に進めていく取り組み内容を明らかにしています。

また、本計画の期間内で重点的に取り組んでいく協働の取り組みを環境づくりの方向ごとに定め、市民・事業者・市のみんなの協働により積極的に進めていきます。

望ましい環境像



里山の恵みと 歴史を活かし 環境文化を育む まち あんなか

～里山や川の豊かな自然を活かし、みんなで創る持続可能なまち～

環境づくりの方向

環境づくりの方向①

みんなで創る
里山の環境文化
【協働社会】

環境づくりの方向②

里山・水・歴史が
織りなす
恵み豊かな快適なまち
【自然共生社会】

環境づくりの方向③

資源・エネルギーを
賢く使う
暮らしやすいまち
【循環・低炭素社会】

基本目標

基本目標別施策の展開方針

1-1 【環境教育・環境活動】
一人ひとりが学び、行動するまち

1-1-1 環境意識の啓発を推進します

1-1-2 環境教育・環境学習を推進します

1-2 【環境交流・協働】
みんなで創る環境にやさしいまち

1-2-1 協働による環境保全活動を推進します

1-2-2 環境交流を推進します

あんなか
市民の環づくり

2-1 【自然環境】
自然や歴史とふれあい、育むまち

2-1-1 健全な生態系を維持し、生物多様性を確保します

2-1-2 里地・里山を保全し、活用します

2-1-3 歴史的・文化的資源を保全します

2-2 【生活・快適環境】
健やかで安心して暮らせる快適なまち

2-2-1 環境に配慮したまちづくりを推進します

2-2-2 健全で良好な生活環境を守ります

2-2-3 誰もが気持ちよく暮らせる環境をつくりま

里山環境交流の
まちづくり

3-1 【資源循環(地球環境)】
ごみの減量・資源化を進めるまち

3-1 3Rを推進します

※一般廃棄物処理基本計画の推進
分別収集計画、広域的な連携による循環型社会の構築

3-2 【エネルギー(地球環境)】
エネルギーを賢く活用するまち

3-2 エネルギーの有効利用を推進します

※地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実行

環境にやさしい
暮らしづくり

2 市民・事業者・市の協働で進める重点的取り組み

協働の目標 1

あんなか市民の環^わづくり



望ましい環境像の『里山の恵みと歴史を活かし、環境文化を育むまち あんなか』の実現に向けては、市民・事業者・市の一人ひとりが環境について学び、考え、行動していくとともに、安中市の環境の保全と創造に係る創意工夫を図り、市全体でその効果がより発現されるよう、みんなが連携し、協力していける社会のしくみづくりが必要です。

本計画では、市民や事業者、市内で環境活動をしているさまざまな団体などと協働して、こうした環境づくりに向けた『あんなか市民の環（わ）』づくりを重点的に進めていきます。

そのため、みんなが参加し、『あんなか市民の環』懇談会（仮）の開催など、市民による環境づくりのためのネットワークを創り、協働プロジェクトの立案と実施、進行管理が図れるようにしていきます。また、それぞれの役割を踏まえて、次のような取り組みを進めていきましょう。

協働の目標 2

里山環境交流のまちづくり



私たちの安中市の特徴である里山の自然の恵みや歴史・文化とふれあい、安心して子育てや暮らしができる快適な環境にしていくためには、その基盤である恵み豊かな里山の環境を再生・活用し、持続可能なものへと、みんなで知恵を出し合い、協力して、守り・育んでいく必要があります。

こうした取り組みと一体となって、良好な生態系（生物多様性）や水循環、地域の自然や歴史的文化的環境をより健全な状態にし、将来世代に伝えていくことが重要になっています。

その第一歩として、本市の里山が私たちにもたらしてくれているさまざまな恵みや役割（価値）を再発見し、活用していきましょう。そして、良好な里山環境の保全と維持管理など従来から進められてきている取り組みを活かし、里山環境と人々とのふれあう多彩な環境交流の機会を充実していくとともに、交流を通じて、里山の環境の保全と活用のしくみづくりを一緒に創っていきましょう。

協働の目標 3

環境にやさしい暮らしづくり



私たちの利便性が高く、物質的にも恵まれた豊かな生活は、大量生産・大量消費・大量廃棄による社会経済システムによって支えられています。反面、資源やエネルギーを大量に消費することに伴い廃棄物や地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出増大など、さまざまな環境負荷を発生し続けています。

資源やエネルギーを大切に利用し、暮らしやすいまちを創っていくとともに、環境負荷を極力減らし持続可能な社会の形成を図っていく必要があります。そのためには、一人ひとりが毎日の生活や事業活動の中で、資源を大切に利用し、ごみの減量と資源化を進めていくとともに、節電などの省エネ対策や太陽光発電などの再生可能エネルギー利用を進め、みんなで、資源が循環利用され、温室効果ガス排出の少ない社会をつくっていく必要があります。

そのため、「ごみの減量・資源化」と「温室効果ガス排出抑制」を重点的に取り組み、みんなで努力や協力して『環境にやさしい暮らしづくり』を進めていきましょう。

本計画で重点的に進める主な取り組み

環境教育・環境学習への参加

環境教育・環境保全活動を指導する
環境人材の育成と活動支援

市内で環境活動をする幅広い
市民・団体の交流の促進

「あんなか市民の環」懇談会(仮)開催

達成指標

- 「市民の環」懇談会が設立し、協働による環境づくり（協働プロジェクト）の取り組みが進められていること。
- 環境リーダーなどによる子どもや市民の環境学習や体験学習、環境保全活動などの取り組みが進められていること。

地域の人々による地域の環境資源の再発見・発信
(景観・ふれあい・文化等)

グリーンツーリズムの普及

里山の諸機能・環境資源の活用を検討

里山や農地の保全・活用の推進

観光・産業・環境・文化など
多彩な環境交流の充実

里山の保全・活
用のしくみづく
り

達成指標

- 地域の人々による環境資源の再発見・発信（環境マップづくり）などが進められ、地域の環境についての理解や課題の共有化が図られていること。
- 里山の観光・産業・環境・文化などを活かした多彩な環境交流が図られ、里山の環境を保全・活用していく市民の環づくりが進められていること。

【里山や木質資源等の活用に際しては、放射性物質による環境汚染等に十分配慮して進めていきます。】

ごみの減量・資源化の推進

3Rの推進・エコスポット普及

節電等省エネ対策の普及

太陽光発電等の普及・支援

再生可能エネルギー活用の検討（中小水力・バイオマスなど）

ごみの減量・資源化

・一般廃棄物処理基本計画の推進

温室効果ガス排出抑制

・地球温暖化対策の推進

エコまち
づくり
機能集約と
ネットワーク化

ごみ減量・ 資源化 達成指標

- 3Rを進めるなど廃棄物の排出量を減らし、市民1人1日あたりのごみ排出量を910g/人日（H35）の達成をめざします。〈H25実績999g/人日〉
- 資源の分別の徹底と回収、廃棄物のリサイクルを進め、資源化率22.3%（H35）の達成をめざします。〈H25年度資源化率11.5%〉

地球温暖 化対策等 達成指標

- 省エネや再生可能エネルギー活用などエネルギーが賢く利用され、市域からの温室効果ガス排出抑制を進め地球温暖化防止に貢献する社会の形成をめざします。
- 省エネ対策や再生可能エネルギー利用を進め、市域からの温室効果ガス排出量をH32年度を目安にH19年度比で8%の削減をめざします。

【市の重点的取り組み】

協働の目標1 **あんなか市民の環^わづくり**

市民・事業者・市との協働による「あんなか市民の環」づくりを進めていくために、市は、環境情報や環境学習機会の提供、環境リーダーなど環境人材の育成と活動支援、市民・事業者・市民団体の環境交流機会の充実を重点的に進めていきます。

また、「あんなか市民の環」懇談会(仮)の毎年開催を進め、市民・事業者・市が協働で進めるプロジェクトの立案と推進などを支援していきます。

重点的取り組み

- 環境情報の充実と発信
- 環境教育・環境学習機会の充実
- 環境人材の育成と活動支援
- 環境交流機会の提供と交流促進
- 「あんなか市民の環」懇談会(仮)の開催
- 「あんなか市民の環」懇談会(仮)による協働プロジェクト立案と推進
- 「あんなか市民の環」への参加促進



協働の目標2 **里山環境交流のまちづくり**

市民・事業者・市との協働による里山の保全と活用を図っていくために、市は、地域住民による地域の環境資源再発見・情報発信、花いっぱい運動や清掃活動、市民・事業者・市民団体が行う環境活動などへの支援をはじめ、多彩な環境交流機会の充実を重点的に進めていきます。

また、市民・事業者・市民団体による里山の保全と活用のしくみづくりを図っていきます。

重点的取り組み

- 地域の環境資源の再発見・発信
- 地域の花づくり・花いっぱい運動の推進
- グリーンツーリズムの推進と普及
- 多彩な環境交流機会の充実
- 里山や農地の保全・活用の推進
- 里山の保全と活用のしくみづくりの推進



協働の目標3 **環境にやさしい暮らしづくり**

環境にやさしい暮らしづくりを進めていくため、ごみの減量・資源化、省エネ・創エネなどエネルギーの有効利用を促進し、環境負荷の少ないまちづくりを進めていくとともに、市民・事業者の日常活動における省資源・省エネルギー活動の普及を促進していきます。

そのため、市の地球温暖化対策実行計画などを率先的に実行していくほか、「一般廃棄物処理基本計画」の推進、「地球温暖化対策推進計画(仮)」の検討や温室効果ガス排出抑制を図っていきます。

重点的取り組み

- ごみの減量・資源化の推進
- 3Rの推進・エコスポット普及
- 節電等省エネ対策の普及
- 太陽光発電等の普及・支援
- 再生可能エネルギー活用の検討
- 地球温暖化対策の積極的な推進



【市民団体の取り組み】

- それぞれの団体が行っている環境活動についての情報などを発信し、市民や他の団体と情報を共有しましょう。
- それぞれの団体が持っている環境活動の実績や経験を、子どもや市民の環境学習や体験学習、環境保全活動に活かしていきましょう。
- 市や地域での環境イベントに参加し、交流を深めていきましょう。
- 他の団体との環境ネットワークを構築していくとともに、「あんなか市民の環」づくりに協力しましょう。

【市民の取り組み】

- 地域や地球環境について、自ら”学び”、そして環境の保全に向けて自分ができることを“考え”、実践してみましょう。
- 市や地域で行われている環境講座や環境まつりなどに参加してみましょう。
- 自分が持っている経験や知識を、学校や地域の環境学習、体験学習、環境保全活動に活かしていきましょう。
- 環境づくりの「あんなか市民の環」に参加してみましょう。また、市民の環が行う活動に協力していきましょう。

【事業者の取り組み】

- 従業員の環境教育・環境学習を進めましょう。
- 従業員の自主的な環境保全活動を支援していきましょう。
- 事業所の環境保全対策を積極的に進めましょう。
- 市や地域での環境イベントに参加し、市民や市民団体との交流を深めましょう。
- 「あんなか市民の環」づくりに参加や協力しましょう。



- それぞれの団体が行っている里山のさまざまな環境活動について情報を提供しあい、相互に理解を深めましょう。
- それぞれの団体が持っている環境活動の実績や経験を活かし、協力していきましょう。
- 地域の環境資源再発見・発信（環境資源マップづくりなど）に協力しましょう。



- 地域の自然や景観・ふれあい・文化などの環境資源の再発見と情報発信（環境マップづくり）に参加・協力しましょう。
- 環境マップづくりを通して、地域の環境についての理解と課題について考えてみましょう。
- 地域での花づくり・花いっぱい運動、グリーンツーリズムなどの活動に参加・協力しましょう。
- 地域で行われる清掃活動をはじめ、里山・農地・水路等の保全・管理や活用などの環境保全活動に参加しましょう。

- 里山の環境資源（環境資源マップなど）情報の発信に協力しましょう。
- 里山の環境資源を活かした事業活動を進め、地域での里山や農地の保全と活用を支援していきましょう。
- 地域での花づくり・花いっぱい運動、グリーンツーリズムなどの活動に参加・協力しましょう。
- 地域で行われる清掃活動をはじめ、里山・農地・水路等の保全・管理や活用などの環境保全活動に参加しましょう。

- 資源回収への協力やごみ分別・ごみ出しルールの普及に協力しましょう。
- レジ袋削減やフリーマーケット開催など、市民・事業者・市と連携し3R活動を進めましょう。
- 省エネや創エネ、地球温暖化防止に係る環境学習や体験学習を進めましょう。
- 地域の再生可能エネルギーなどの活用に係る検討、他の団体や市民・事業者との連携によるエネルギーの地産地消、有効利用活動を進めていきましょう。

- 家庭ごみ収集日程表に基づいて、ごみの分別徹底と適正なごみ出しを進めます。また、集団回収や市のエコスポットを適正に活用しましょう。
- ごみとなるものを使わない・もらわない(リデュース)、繰り返し使う(リユース)、再資源化できるものはリサイクルし、3Rを進めましょう。
- ライフスタイルを見直し、毎日の生活での節電など電気使用量を減らしていきましょう。
- エコドライブやエコカー・公共交通の活用、近在へは徒歩や自転車を活用するなど適切な自動車利用に努めましょう。

- 事業系一般廃棄物の減量・資源化の徹底と適正な廃棄物処理に努めるとともに、家庭ごみへの混在防止に努めましょう。
- 産業廃棄物の減量・資源化、適正な処理実施に努めましょう。
- 商品や製品の資源調達・製造・流通・販売の各段階での省資源・省エネルギー対策を進めましょう。
- レジ袋削減や詰め替え商品の販売、資源物の回収など、エコショップ活動やグリーン購入活動に参加・協力していきましょう。
- 事業に伴う未利用エネルギーや再生可能エネルギーの有効活用を進めましょう。

3 計画の推進に向けて

協働による環境の保全と創造に向け

計画を着実に推進していくためには、「安中市環境基本条例」に定めるように、市民・事業者・市の三者が、それぞれの役割と責務に応じて、主体的に環境配慮行動を実践していくことが重要となります。

また、環境はさまざまな分野とも密接に関連しているため、本市の環境を、より快適で、安心して子育てや暮らしができる誇れる環境としていくためには、市民・事業者・市が環境パートナーシップのもとに協働し、自然と共生した環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを一緒に進めていくことが大切です。



『安中市のマスコット 「こうめちゃん」』

市民・事業者・市の役割

【市民の役割】

- 人と環境との関わりについて理解を深め、日常生活での環境への負荷の低減に努めます。
- 市が実施する環境施策に協力します。



【市の役割】

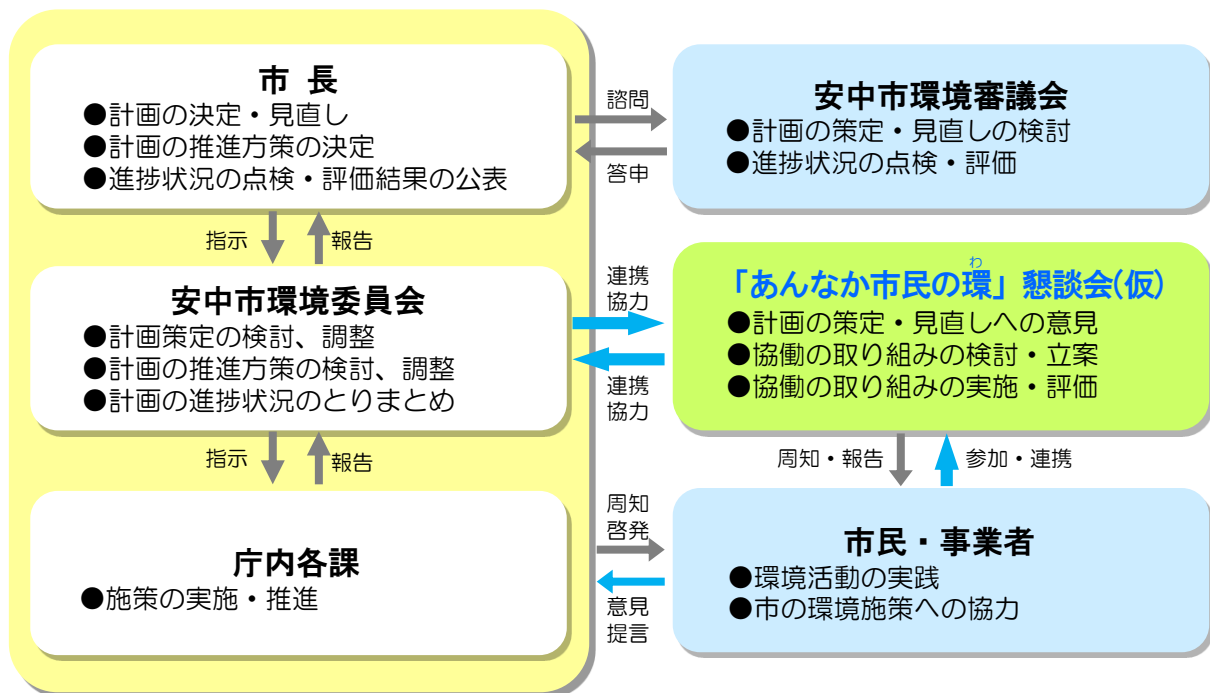
- 地域環境の保全と創造に関する取り組みの推進役としての役割を踏まえ、本計画に基づく環境施策を実施します。
- 自らも、地域の一事業者として環境の保全と創造に関する行動を率先して実行します。

【事業者の役割】

- 公害の防止や廃棄物処理などを適正に実施します。
- 全ての製品について、使用・廃棄に伴う環境への負担の軽減、環境に配慮した原材料などを利用します。
- 市が実施する環境施策に協力します。

計画の推進・進行管理に向けて

計画の推進体制



表紙イラスト 白田淳美さん（安中市）
イラストは、私たちが排出したCO2を吸収した樹木の板に描いた水彩画です。



安中市環境基本計画2016（概要版）

編集 安中市市民部 環境推進課

連絡先 〒379-0133 安中市原市6-5 碓氷川クリーンセンター内
電話 027-382-1111（代） FAX 027-381-2783